

# 令和7年度 板橋区立小中学校 ICT機器活用アンケート調査 結果報告（概要版）

【調査期間】 令和7年12月1日（月）から 令和8年1月16日（金）まで

## 【調査対象】

- ① 管理職 区立小中学校に勤務する校長・副校長（149名）
- ② 教員 区立小中学校に勤務する教職員（1,718名）
- ③ 児童生徒 区立小学校に在籍する5年生及び6年生児童（8,040名）  
区立中学校に在籍する7年生及び8年生生徒（6,227名）

※調査対象には、休職中や長期欠席中の者も含まれる。

## 【主な観点】

令和7年度のアンケートでは、Chromebookの活用状況や児童・生徒の情報活用能力の指標の認知度等、経年動向を確認したい従来の項目に加え、令和7年11月に機器更新した新端末についての項目について調査した。また、校務支援システムやGoogle機能、AIの活用状況等、校務DX推進に関連する項目についても踏み込んだ分析を行った。

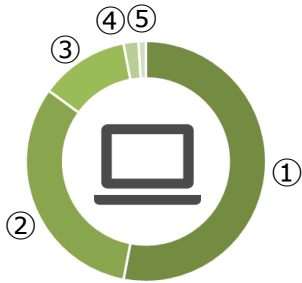
## 【有効回答者数（率）】

学校	小学校					中学校				
	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和7年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
管理職	<b>105名 (100%)</b>	105名 (100%)	105名 (100%)	83名 (80%)	101名 (97%)	<b>44名 (100%)</b>	44名 (100%)	42名 (95%)	34名 (77%)	37名 (84%)
教員	<b>1,158名 (98%)</b>	1,090名 (93%)	929名 (79%)	805名 (67%)	808名 (63%)	<b>509名 (95%)</b>	477名 (92%)	384名 (73%)	314名 (56%)	319名 (53%)
児童生徒	<b>6,829名 (85%)</b>	6,918名 (88%)	6,338名 (82%)	5,601名 (74%)	5,912名 (79%)	<b>5,055名 (81%)</b>	5,091名 (84%)	4,668名 (77%)	4,502名 (73%)	4,633名 (75%)

# 【1 - ①】Chromebookの活用状況（児童生徒）

小・中学校ともに **8割以上の児童生徒が1週間に3回以上使用している**。また、過半数の児童生徒がChromebookを使った授業により、「**自分の考えをわかりやすくまとめること**」、「**必要な資料をインターネットで見つけること**」、「**友達と協力して学習すること**」ができるようになったと考えている。

- あなたは学校の授業で、Chromebookをどのくらい使っていますか。調査項目：児童No.1、生徒No.1

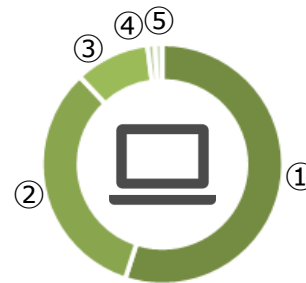


小学校児童

**85%**

1週間のうち  
3回以上使用

<経年比較>  
令和6年度  
81%



中学校生徒

**88%**

1週間のうち  
3回以上使用

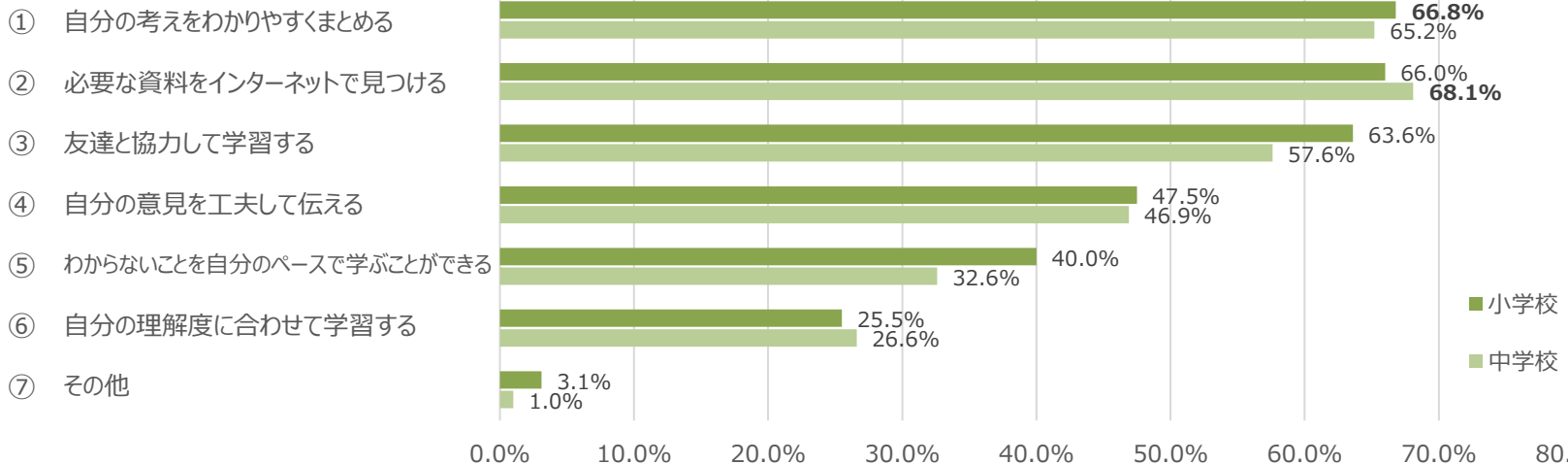
<経年比較>  
令和6年度  
79%

①ほぼ毎日	<b>53%</b>	②1週間のうち3回以上	<b>32%</b>
③1週間のうち1回以上	12%	④1ヶ月のうち1回以上	2%
⑤1ヶ月のうちほとんど活用していない			1%

①ほぼ毎日	<b>55%</b>	②1週間のうち3回以上	<b>33%</b>
③1週間のうち1回以上	10%	④1ヶ月のうち1回以上	1%
⑤1ヶ月のうちほとんど活用していない			1%

- Chromebookを使った授業で、あなたができるようになったことはどんなことですか。あてはまるものをすべて選んでください。

調査項目：児童No.8、生徒No.8

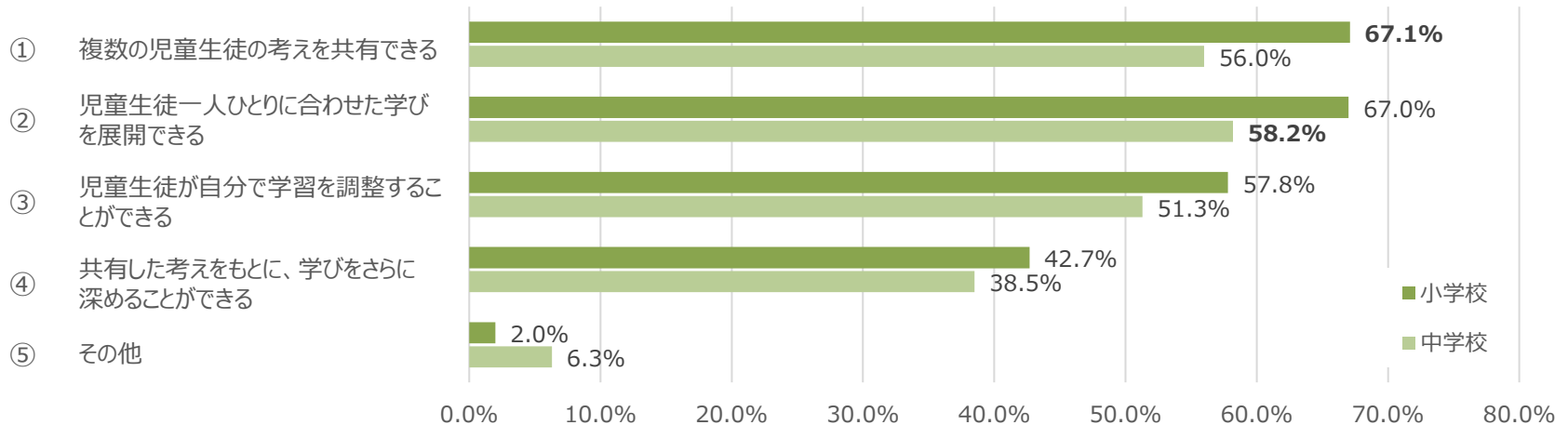


## 【1 - ②】Chromebookの活用状況（教員）

Chromebookが1人に1台整備されたことにより、**小学校・中学校ともに半数以上の教員が「生徒一人ひとりに合わせた学びを展開できる」「複数の生徒の考えを共有できる」**ことを効果として回答。文部科学省が推進する**「個別最適な学び」と「協働的な学び」を支えるツール**となっていることがうかがえる。



- Chromebookが児童生徒に1人1台整備されたことにより、どのような効果が得られたと思いますか。あてはまるものを全てお選びください。調査項目：小学校教員No.2、中学校教員No.2



### ■その他（自由記載）より抜粋

- 外国語圏児童の通訳や教材翻訳、視覚支援補助、資料や意見分析、統計作成から工場や職業の疑似体験など、幅広く使用できている。
- 音声教材などにより、LD（学習障害）傾向の児童でも学習に参加できるようになる。
- 個別に調べ学習に取り組むことができる。
- Web提出の課題ができる、授業内容に関連した検索ができる、動画を学習の参考にできる、PCやWebのツールが使えるクラスルームの利用により、職員での情報共有がしやすくなった。
- 翻訳機能によって、外国人生徒も調べ学習に取り組みやすくなった。
- 電子黒板にChromebook配信の課題進捗を全員分映しておくことで、効率的に支援が必要な生徒に声かけをすることができる。
- 協働学習でわかったことの情報をまとめ、スライド化して発表する力がついた。

## 【2】オンライン授業等の実施（教員）

欠席や、様々な事情により登校できない児童生徒に対して、**過半数の教員**がオンライン活用授業等を実施している。特に**中学校では7割以上**となっている。また、自由意見からは、オンラインの特性を生かした学校間交流やゲストティーチャーの講演などにも活用されていることがわかった。

- 現在、全ての学級でオンラインを活用した授業等（※）を実施できるよう機器を配備しています。貴校では、欠席した児童生徒や、様々な事情により登校できない児童生徒に対して、オンラインを活用した授業等を実施していますか。（※）オンライン授業（双方向で「教員と児童生徒」「児童生徒同士」でやりとりする授業）、授業配信（双方向でのやりとりは行わず、授業の様子のみ配信）、オンデマンド授業等配信（事前に録画した授業動画等の配信） 調査項目：小学校教員No.10、中学校教員No.9



①実施している **55%** ②実施していない 45%



①実施している **73%** ②実施していない 27%

- 「実施している」と回答した方にお聞きします。どのような方法で実施していますか。あてはまるものを全てお選びください。

調査項目：小学校教員No.10-B、中学校教員No. 9-B

オンライン授業の実施方法	小学校	中学校
① 授業配信（双方向でのやりとりは行わず、授業の様子のみ配信）	71.4%	86.5%
② オンライン授業（双方向で「教員と児童生徒」「児童生徒同士」でやりとりする授業）	38.3%	20.3%
③ オンデマンド授業等配信（事前に録画した授業動画等の配信）	3.1%	1.4%

- 前項で回答した授業方法は、具体的にどのような場面で実施していますか。

調査項目：小学校教員No.10-C、中学校教員No. 9-C

### ■その他（自由記載）より抜粋

- 怪我や出席停止期間の生徒への授業配信。
- 不登校傾向の児童が希望する際に実施。授業配信をしながら、発問や質問、作業の確認、児童の交流などを行った。
- 学校間の交流活動、ゲストティーチャーのオンライン講義。
- 5教科を中心に板書が見えるような配信をしている。
- 毎日の授業で実施。視聴している生徒から質問があればチャットで受け付けている。

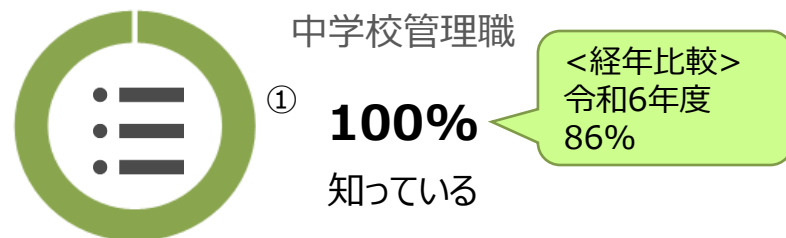
### 【3】板橋区 児童・生徒の情報活用能力の指標（管理職・教員）

「板橋区 児童・生徒の情報活用能力の指標」については、**管理職の認知度は小学校・中学校ともに9割を超えており、浸透していることがわかった。**一方、**教員側は5割程度、約半数の教員が「知らない」と回答。**令和6年度よりは上がっているものの、**一般の教員への周知に課題があることがわかった。**

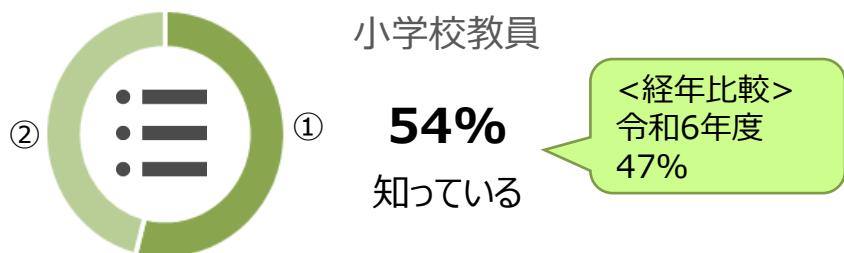
- あなたは教員用GIGA活用ポータルサイトに掲載されている「板橋区 児童・生徒の情報活用能力の指標」を知っていますか。  
調査項目：小学校管理職No.22、中学校管理職No.21、小学校教員No.28、中学校教員No.27



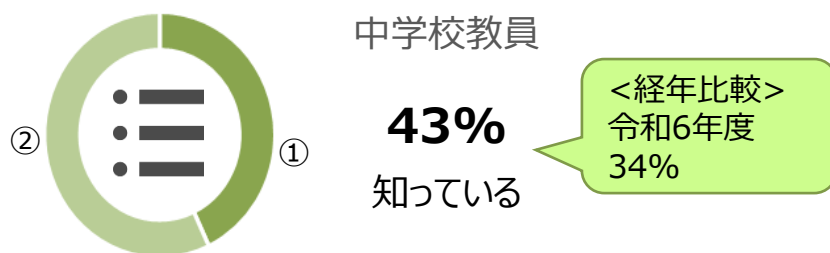
①知っている	<b>92%</b>	②知らない	8%
--------	------------	-------	----



①知っている	<b>100%</b>	②知らない	0%
--------	-------------	-------	----



①知っている	<b>54%</b>	②知らない	46%
--------	------------	-------	-----



①知っている	<b>43%</b>	②知らない	57%
--------	------------	-------	-----

## 【4】新Chromebookの使い心地（小学校・中学校）

新しいChromebookについて、約6～7割の児童生徒が持ち運びが楽になった、「利便性が向上した」、「タッチペンが使いやすい」と回答。使い心地の向上を一定程度実感していることがわかった。

また、Chromebookカバーについて、約7割の小学校教員が役立つと感じていることがわかった。

- 新しくなったChromebookについて質問します。前のChromebookよりも軽くなったことで、持ち運びが楽になったと思いますか。



児童  
**63%**  
楽になった  
と感じている

調査項目：児童No.13

① 思う	35%	② やや思う	28%
③ あまり 思わない	19%	④ 思わない	18%



生徒  
**58%**  
楽になったと  
感じている

調査項目：生徒No.13

① 思う	31%	② やや思う	27%
③ あまり 思わない	21%	④ 思わない	21%

- 新しくなったChromebookについて質問します。画面とキーボードを分けられるのは便利だと思いますか。



児童  
**71%**  
利便性向上を  
実感している

調査項目：児童No.14

① 思う	41%	② やや思う	30%
③ あまり 思わない	16%	④ 思わ ない	13%

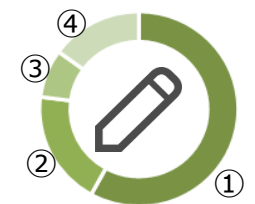


生徒  
**63%**  
利便性向上を  
実感している

調査項目：生徒No.14

① 思う	32%	② やや思 う	31%
③ あまり 思わない	21%	④ 思わ ない	16%

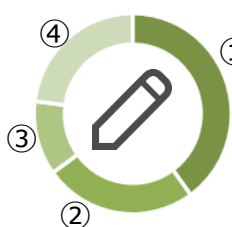
- 新しくなったChromebookについて質問します。タッチペンは、使いやすいと思いますか。



児童  
**77%**  
使いやすいと  
感じている

調査項目：児童No.15

① 思う	58%	② やや思う	19%
③ あまり 思わない	8%	④ 思わ ない	15%

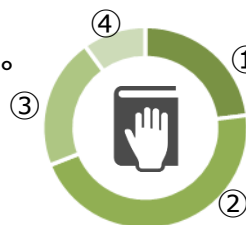


生徒  
**65%**  
使いやすいと  
感じている

調査項目：生徒No.15

① 思う	40%	② やや思う	25%
③ あまり 思わない	12%	④ 思わ ない	23%

- 今年度新しくなった児童用Chromebookについてお聞きします。1～3年生の児童に配備しているChromebookカバーは、持ち運ぶ際の利便性向上や破損リスクの低減などの役に立っていると思いますか。 調査項目：小学校教員No.6



小学校教員  
**69%**  
役立つと  
感じている

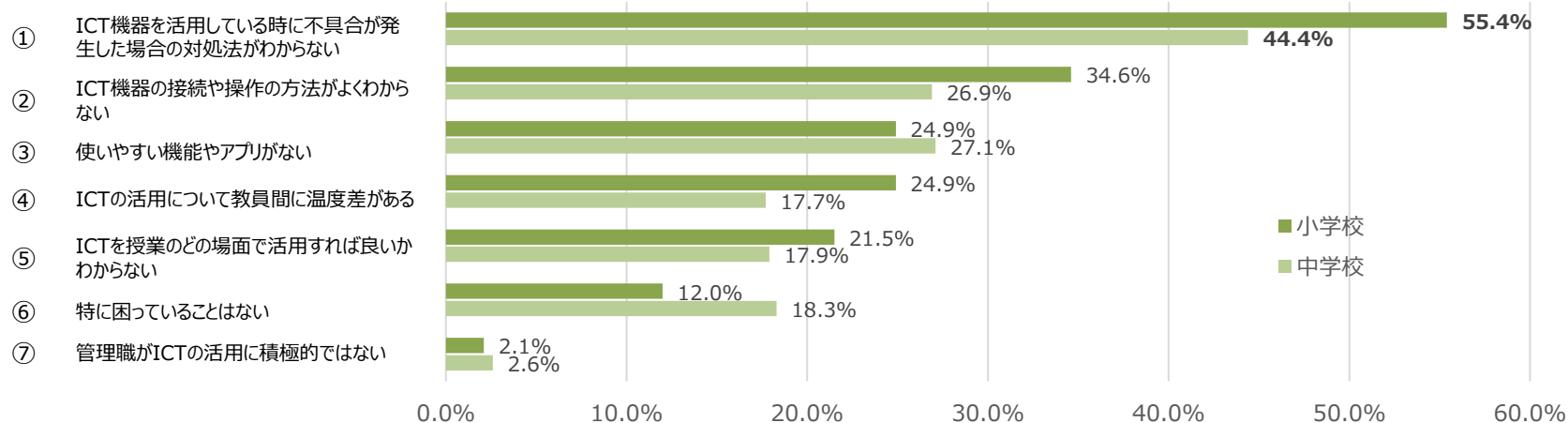
① 思う	23%	② やや思う	46%
③ あまり 思わない	21%	④ 思わ ない	10%

## 【5】ICTの活用において困った際の解決方法(教員)

ICT機器の不具合への対応や操作方法に関する困りごとについて、教員は、**GIGAスクール推進支援員に聞いたり、教員間で質問し合って解決したケースが多い**。特に小学校では、**8割以上の教員がGIGAスクール推進支援員のアドバイスを受けて困りごとを解決した経験がある**と回答している。

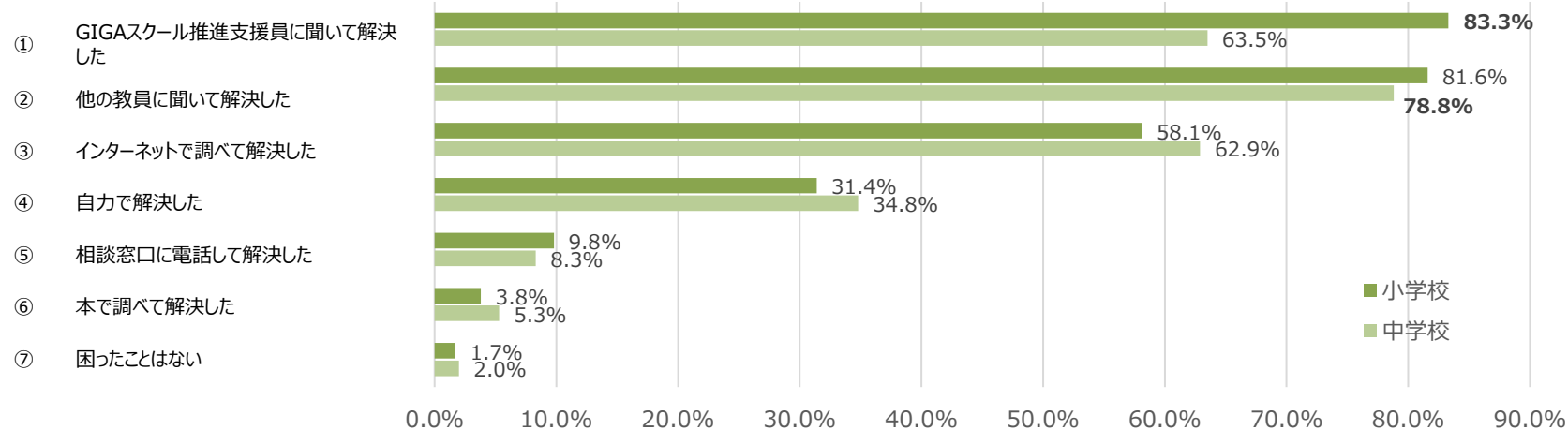
- あなたがICTを活用するにあたり、困っていることはありますか。あてはまるものを全てお選びください。

調査項目：小学校教員No.33、中学校教員No.32



- 【困りごとを解決できた事例】授業中、パソコンやソフトウェアの使い方で困ったとき、次のようなことがありましたか。

調査項目：小学校教員No.18、中学校教員No.17

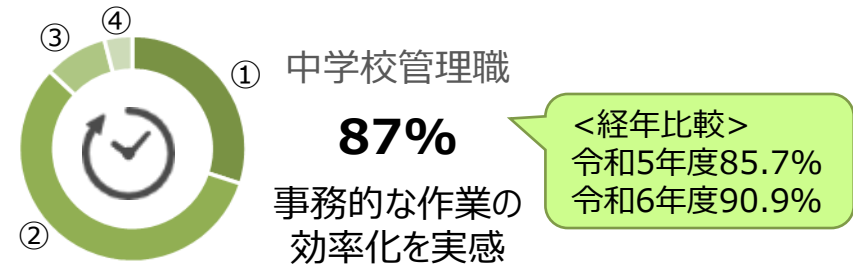
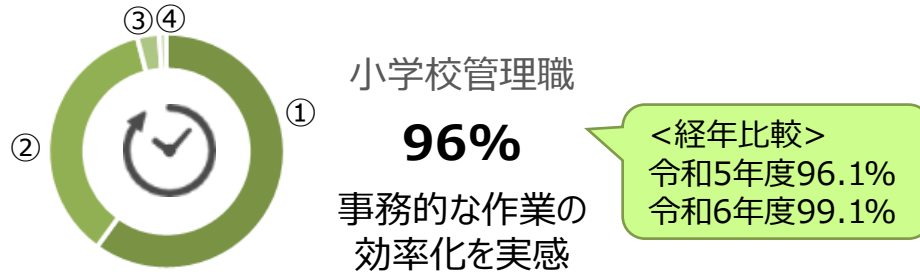


## 【6 - ①】校務支援システムの活用による作業の効率化（管理職）

校務支援システムの活用により、事務的な作業が効率化されたと感じている管理職は、**小学校で9割以上、中学校で8割以上**となっている。また、多くの管理職が、**効率化が時間外勤務の削減につながるという認識を持っている**ことがわかった。

- 校務支援システム（C4th）の活用により、事務的な作業の効率化が図られていると思いますか。

調査項目：小学校管理職No.26、中学校管理職No.25



① 思う	<b>60%</b>	② やや思う	<b>36%</b>
③ あまり思わない	3%	④ 思わない	1%

① 思う	<b>30%</b>	② やや思う	<b>57%</b>
③ あまり思わない	9%	④ 思わない	4%

- 効率化により捻出された時間を、何に充てましたか。あてはまるものを全てお選びください。

調査項目：小学校管理職No.26-A、中学校管理職No.25-A

効率化により捻出された時間の充当内容	小学校管理職	中学校管理職
① 保護者（地域）への子どもについての情報発信を充実させること	39.6%	7.9%
② 保護者（地域）への学校や教育活動についての情報発信を充実させること	<b>45.5%</b>	<b>18.4%</b>
③ 時間外勤務を減らすこと	<b>83.2%</b>	<b>76.3%</b>
④ 他校の研究発表授業などを自由に見に行く時間を確保すること	32.7%	5.3%
⑤ 教職員の指導	<b>63.4%</b>	<b>47.4%</b>
⑥ その他	7.9%	7.9%

### ■ その他（自由記載）より抜粋

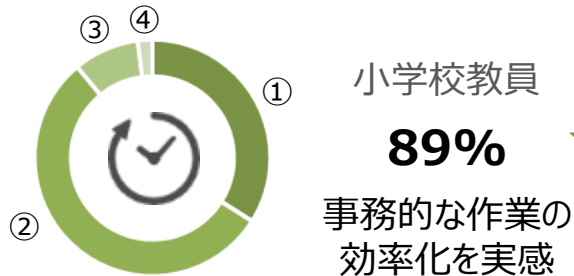
- ・ 学校経営
- ・ 年次有給休暇やその他の取得による心身の疲労回復と労働力の維持培養をはじめとした、諸休暇の取得
- ・ 教材研究
- ・ 道德教育の推進事業
- ・ 教員の教材研究の時間
- ・ 校内巡視の回数を増やす
- ・ 学年間や他学年との打合わせ等
- ・ 地域巡視
- ・ 部活動指導
- ・ 事務処理等

## 【6 - ②】校務支援システムの活用による作業の効率化（教員）

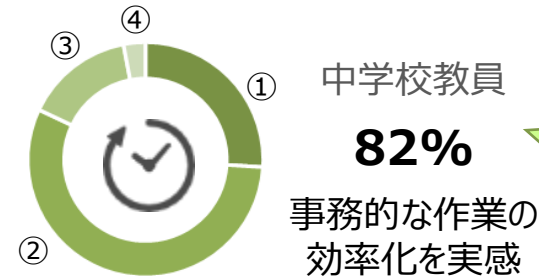
校務支援システムの活用により、事務的な作業が効率化されたと感じている教員は、**小学校で約9割、中学校で約8割**となっている。また、多くの教員が、時間外勤務の削減よりも「**授業準備（教材研究）にかける時間を増やすこと**」に意識を向けていることがわかった。

- 校務支援システム（C4th）の活用により、事務的な作業の効率化が図られていると思いますか。

調査項目：小学校教員No.34、中学校教員No.33



<経年比較>  
令和5年度84.9%  
令和6年度86.4%



<経年比較>  
令和5年度69.5%  
令和6年度79.2%

① 思う	34%	② やや思う	55%
③ あまり思わない	9%	④ 思わない	2%

① 思う	26%	② やや思う	56%
③ あまり思わない	15%	④ 思わない	3%

- 効率化により捻出された時間を、何に充てましたか。あてはまるものを全てお選びください。

調査項目：小学校教員No.34-A、中学校教員No.33-A

効率化により捻出された時間の充当内容	小学校教員	中学校教員
① 子どもとふれ合う時間を増やすこと	36.7%	<b>36.7%</b>
② 授業準備（教材研究）にかける時間を増やすこと	<b>71.5%</b>	<b>62.8%</b>
③ 子どもの作品やノートを見る時間を増やすこと	<b>40.7%</b>	27.8%
④ 放課後の補習等にかける時間を増やすこと	7.7%	9.4%
⑤ 部活動の指導にあたる時間を増やすこと	1.0%	20.3%
⑥ 保護者（地域）への子どもについての情報発信を充実させること	4.9%	5.6%
⑦ 保護者（地域）への学校や教育活動についての情報発信を充実させること	3.6%	5.3%
⑧ 時間外勤務を減らすこと	<b>45.1%</b>	<b>42.3%</b>
⑨ 他校の研究発表授業などを自由に見に行く時間を確保すること	4.4%	2.4%
⑩ その他	2.0%	3.6%

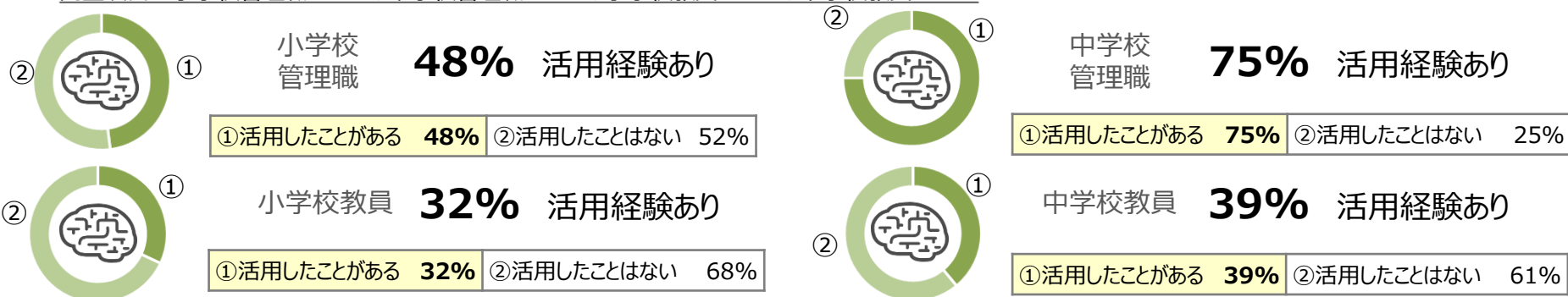
### ■その他（自由記載）より抜粋

- その他の校務や書類の作成等
- 何に充てたかまでは把握できていない
- 教員として自発的にやれることをふやす
- 効率化の分、別の作業量が増えている
- 保護者対応
- パソコン操作ができる教員に負担が偏るため結果的に自身の業務の効率化には繋がっていない。
- ICTを使えるようになる勉強、事務作業
- 保健関係の事務作業にかける時間を増やす
- 調査に対する回答

## 【7】AIの活用（管理職・教員）

「Google Gemini」と「NotebookLM」などのAI活用経験について、小学校管理職は約半数、中学校管理職は約7割、教員は約3～4割が活用経験ありと回答。管理職は「定型的な文書のたたき台」の作成、教員は「教材のたたき台」の作成に活用するケースが最も多いことがわかった。

- 「Google Gemini」と「NotebookLM」についてお伺いします。あなたはこれまでに、これらのアプリケーションを業務で活用したことはありますか。  
調査項目：小学校管理職No.29、中学校管理職No.28、小学校教員No.37、中学校教員No.36



- 「活用したことがある」と答えた方にお聞きます。どのようなことに活用しましたか。あてはまるものを全てお選びください。

調査項目：小学校管理職No.29-A、中学校管理職No.28-A、小学校教員No.37-A、中学校教員No.36-A

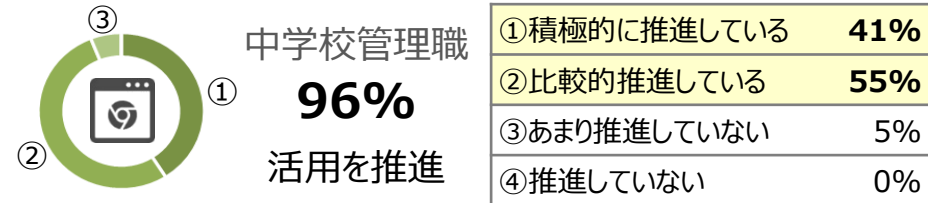
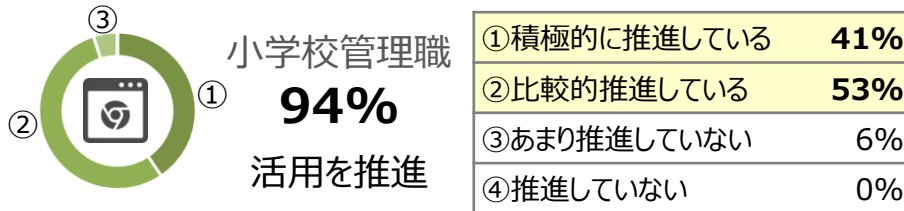
活用の内容	小学校管理職	中学校管理職	小学校教員	中学校教員
① 定型的な文書のたたき台	92.0%	87.9%	46.7%	47.3%
② 保護者向けのお知らせ文書のたたき台	66.0%	60.6%	26.4%	25.9%
③ 挨拶文や式辞等の原稿のたたき台	64.0%	63.6%	26.4%	22.4%
④ 報告書のたたき台	52.0%	51.5%	28.8%	28.9%
⑤ 教員研修資料のたたき台	44.0%	39.4%	20.4%	10.4%
⑥ HP等広報用資料の構成・たたき台	12.0%	15.2%	8.2%	4.5%
⑦ 外国籍の保護者へのお知らせ文書の翻訳のたたき台	6.0%	6.1%	5.7%	4.0%
⑧ 授業時数の調整案のたたき台	6.0%	0.0%	3.8%	1.5%
⑨ 【教員のみ】教材のたたき台	—	—	67.1%	65.2%
⑩ 【教員のみ】練習問題やテスト問題のたたき台	—	—	32.9%	45.3%
⑪ 【教員のみ】生成AIを模擬授業相手とした授業準備	—	—	16.6%	12.4%
⑫ 【教員のみ】校外学習等の行程作成のたたき台	—	—	10.6%	7.0%
⑬ 【教員のみ】運動会の競技種目案のたたき台	—	—	9.0%	4.0%
⑭ 【教員のみ】部活動等の大会・遠征にかかる経費の概算	—	—	1.9%	1.5%

## 【8 - ①】校務支援システムやGoogleの機能等の活用による校務DXの推進（管理職）

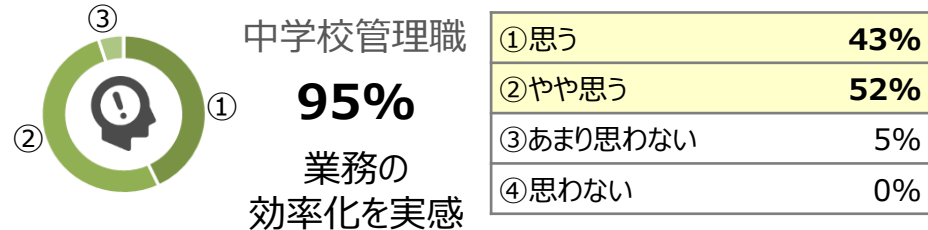
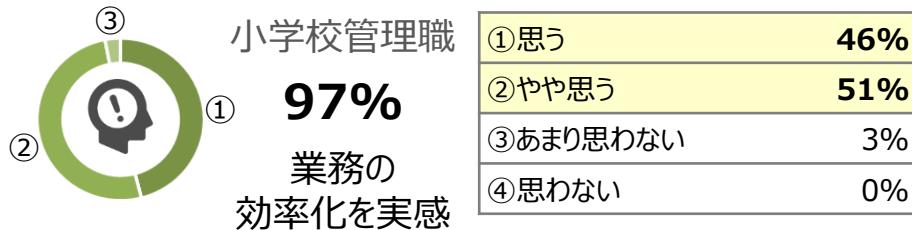
校務支援システムやGoogleの機能等ソフトウェアの活用を推進している管理職、及び業務効率の向上を実感している管理職は、**小学校・中学校ともに9割以上**となっている。**職員間の情報共有やペーパーレス化によるデータ管理の容易化**などが効果として挙げられた。

- 貴校では、校務支援システムやGoogleの機能等ソフトウェアの活用を推進していますか。

調査項目：小学校管理職No.30、中学校管理職No.29



- 「積極的に推進している」または「比較的推進している」と答えた方にお聞きます。各種ソフトウェアの活用を推進したことにより、以前に比べて校務に関する業務の効率が向上したと思いませんか。 調査項目：小学校管理職No.30-A、中学校管理職No.29-A



### ■ 効率化された内容（自由記載）より抜粋

調査項目：小学校管理職No.30-B、中学校管理職No.29-B

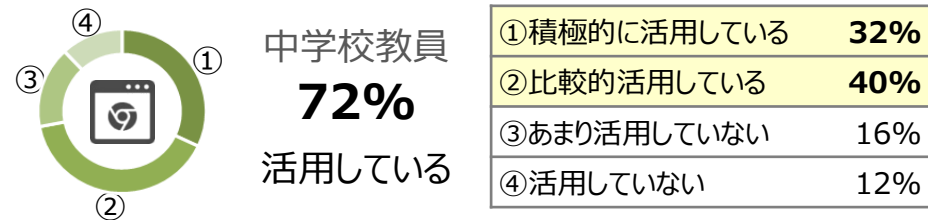
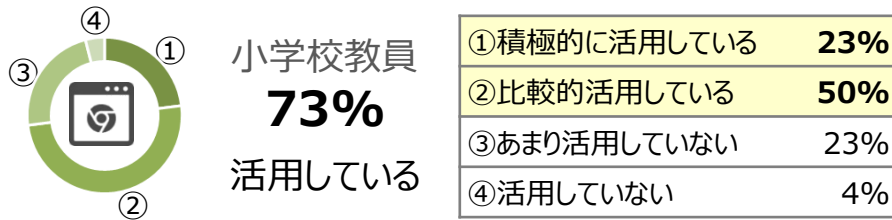
- Googleクラスルームの利用により、職員での情報共有がしやすくなった。
- 紙ベースの資料が少なくなり、用意する時間が必要ではなくなった。その分の時間を他へ回すことができる。
- PCで申請等が済むので迅速に個人で対応できる。
- アンケート、調査関係等での集約が効率化された。本校のポータルサイトを活用することでいつでもどこでも執務できるようになった。
- デジタル化されたことで、データ管理が簡単になった。
- 年度当初の正式なアカウント配付までの期間に閲覧用のアカウントが配付されたため、資料が多い時期でも印刷する手間がはぶけた。ファイルに綴じこんだりする手間も省けた。
- 印刷・配付業務、紙の消費量は格段に減った。
- リアテンドなどは採点業務の効率化につながっている。
- 様々な仕事の時間効率が良くなっている。また、業務の完成度の向上などバージョンアップも進んでいる。

## 【8 - ②】校務支援システムやGoogleの機能等の活用による校務DXの推進（教員）

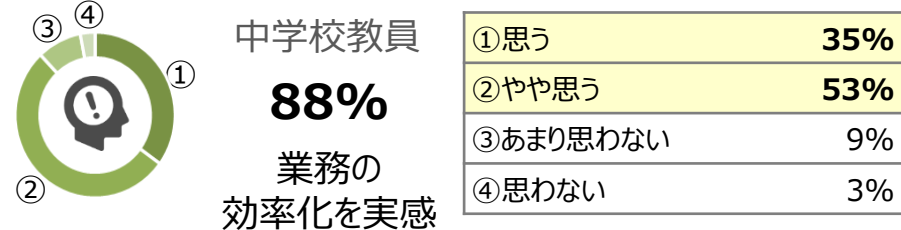
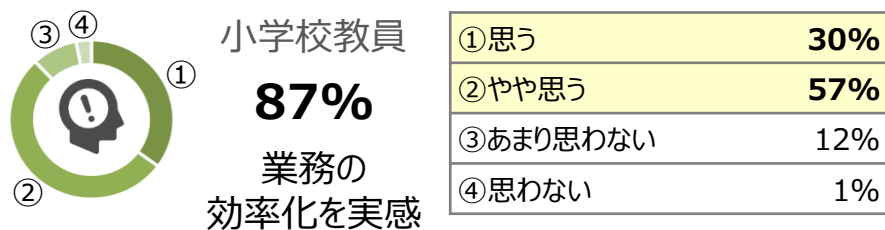
校務支援システムやGoogleの機能等ソフトウェアを活用している教員は小学校・中学校ともに約7割、業務効率の向上を実感している教員は約9割となっている。**職員間の情報共有の容易化のほか、採点・分析システム「リアテンド」の活用による採点業務の効率化**が効果として多く挙げられた。

- あなたは、校務支援システムやGoogleの機能（、リアテンド）等ソフトウェアの活用していますか。

調査項目：小学校教員No.38、中学校教員No.38



- 「積極的に活用している」または「比較的活用している」と答えた方にお聞きします。各種ソフトウェアを活用したことにより、以前に比べて校務に関する業務の効率が向上したと思いますか。調査項目：小学校教員No.38-A、中学校教員No.38-A



### ■ 効率化された内容（自由記載）より抜粋

調査項目：小学校管理職No.38-B、中学校管理職No.38-B

- 子どもたちへの情報の共有がスムーズにできる。
- アンケート集計、児童のノート管理、授業準備をどこでもできる。
- ファイルを共有し同時にデータ編集ができるので、成績関係や、養護教員と健康関係書類を作ることが、効率化されたと感じている。
- 他校の先生方とのやりとりを電話でしなくてもよくなったので、自分のタイミングで必要な連絡ができる。
- Googleクラスルームと採点ソフトの導入が大きい。授業はすべてGoogleクラスルームで一元管理し、資料や提出物の管理が効率化された。アンケートや情報共有といった手間や時間がかかっていたものがすぐ終わるようになった。
- リアテンド活用で大幅に採点時間が減った。その分、解説プリント等に時間を費やすことができた。
- 教材研究の際、一人で悩んでいたことが解消できたり発展できたりするようになった。小テストの作成が楽になった。採点が楽になった。
- 教材準備や成績関連の処理、保護者への通知文書作成等に割く時間が大幅に削減された。

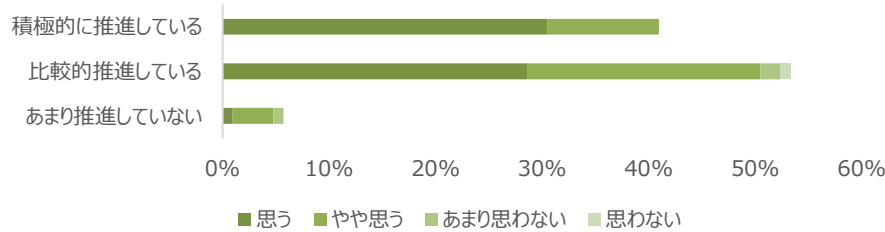
# 【9】校務支援システムの活用及び校務DXの関係性（管理職・教員）

校務支援システムやGoogle機能等ソフトウェアの活用を推進・活用している管理職・教員の約9割が事務的な作業の効率化を実感しており、**推進・活用状況との関連**がうかがえる。

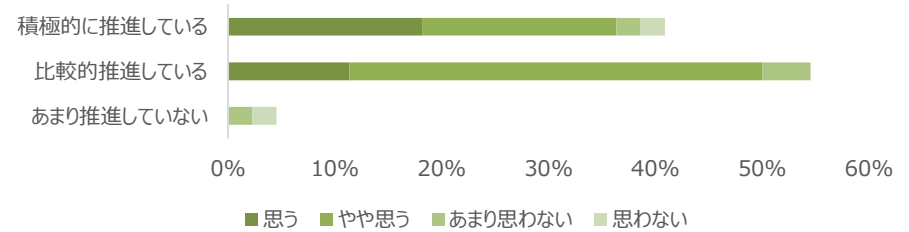
A) 校務支援システム（C4th）の活用により、事務的な作業の効率化が図られていると思いますか。（【6-①】【6-②】）

C) 貴校では、校務支援システムやGoogleの機能等ソフトウェアの活用を推進していますか／活用していますか。（【8-①】【8-②】）

小学校 管理職



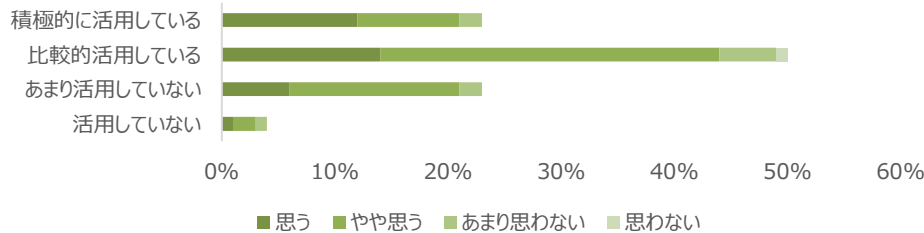
中学校 管理職



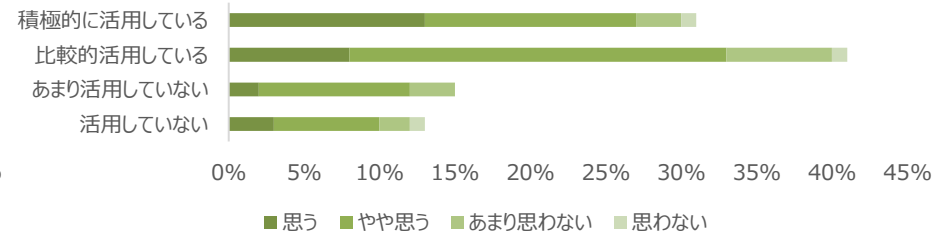
C	A			
	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
積極的に推進している	30%	11%	0%	0%
比較的推進している	29%	22%	2%	1%
あまり推進していない	1%	4%	1%	0%

C	A			
	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
積極的に推進している	18%	18%	2%	2%
比較的推進している	12%	39%	5%	0%
あまり推進していない	0%	0%	2%	2%

小学校 教員



中学校 教員



C	A			
	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
積極的に活用している	12%	8%	2%	0%
比較的活用している	14%	30%	4%	1%
あまり活用していない	6%	15%	2%	0%
活用していない	1%	2%	1%	0%

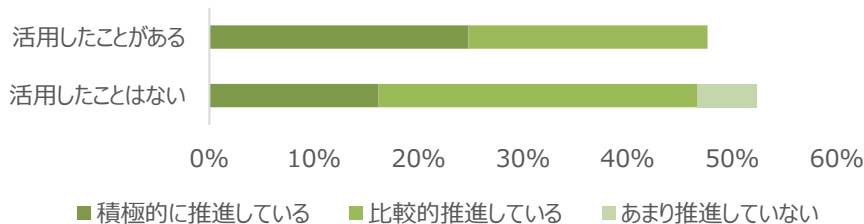
C	A			
	思う	やや思う	あまり思わない	思わない
積極的に活用している	13%	14%	3%	1%
比較的活用している	8%	25%	7%	1%
あまり活用していない	2%	10%	3%	0%
活用していない	3%	7%	2%	1%

# 【10】AIの活用及び校務DXの関係性（管理職・教員）

校務支援システムやGoogleの機能等ソフトウェアの活用を推進している管理職のうち、AIを活用している割合が**小学校で約5割、中学校で約7割**となっており、既存のICT活用状況との関連がうかがえる。教員では、両者を活用している割合は**約3割**となっている。

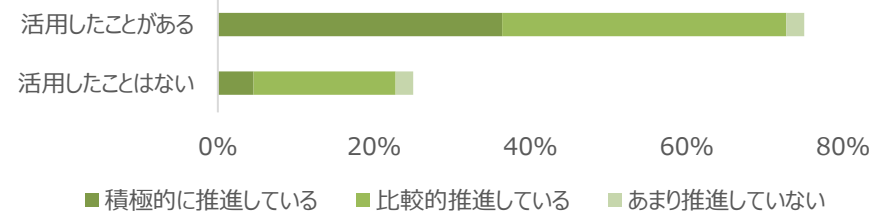
- B) 「Google Gemini」と「NotebookLM」についてお伺いします。あなたはこれまでに、これらのアプリケーションを業務で活用したことはありますか。（【7】）  
 C) 貴校では、校務支援システムやGoogleの機能等ソフトウェアの活用を推進していますか／活用していますか。（【8-①】【8-②】）

小学校 管理職



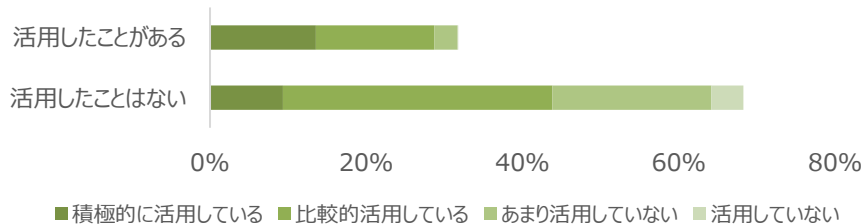
B	C	積極的に推進している	比較的推進している	あまり推進していない
		活用したことがある	25%	23%
活用したことはない		16%	30%	6%

中学校 管理職



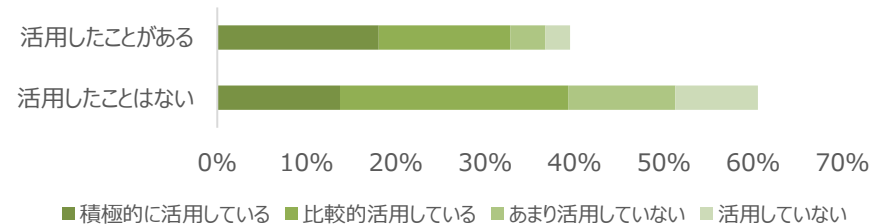
B	C	積極的に推進している	比較的推進している	あまり推進していない
		活用したことがある	36%	37%
活用したことはない		5%	18%	2%

小学校 教員



B	C	積極的に活用している	比較的活用している	あまり活用していない	活用していない
		活用したことがある	14%	15%	3%
活用したことはない		9%	34%	21%	4%

中学校 教員



B	C	積極的に活用している	比較的活用している	あまり活用していない	活用していない
		活用したことがある	18%	15%	4%
活用したことはない		14%	26%	12%	9%